

静岡県漁業協同組合連合会
1069 静岡市追手町 9-18
15.11.21 ☎ 054-254-6011
編集・発行 = 指導部漁政課

1. 「海の子フェスタ2003」静岡市清水で盛大に開催

去る11月16日、海の子フェスタ実行委員会(静岡県、県教委、静岡市、県漁連、清水漁協、水産関係団体)主催による、さかな王国海のフェスティバル「海の子フェスタ2003」が静岡市清水マリパークにおいて、次代を担う子供たちに視点を当て、海の環境保全や資源管理の重要性を学ぶ機会を提供しようと、昨年に引続き開催されました。

当日は天候に恵まれ、県内漁業関係者をはじめ地元市民ら約5万人で賑わい、式典では主催者を代表して、西川徳市実行委員会会長(本会会長)が挨拶したあと、石川嘉延名誉会長(県知事)より挨拶があり、続いて小嶋善吉静岡市長が歓迎のことばを述べ、次に倉田雅年衆議院議員が来賓を代表して祝辞を述べました。

引続き、「第38回静岡県 海の子作品展」の表彰が行われ、石川県知事より県知事賞に選ばれた藤井章予さん(安良里小2年)「今日は大漁だぞ!」、片山哲也君(焼津港中学3年)「海で働く人々」の2名が表彰され、次に鈴木善彦県教育委員会教育長より静岡県教育委員会教育賞に選ばれた角谷昭仁君(吉田中央小5年)「港の船」、池上弾君(焼津和田中3年)「魚市場」の2名が表彰されました。

続いて、マリンエコキッズクラブ会員の吉田達也君(静岡中田小2年)、剣持佳季君(静岡清水小4年)の2名より夏休みに行われた地曳き網とシラス船曳き網に「海の探検隊」のメンバーとして参加した体験発表が元気よく行われました。

この後、宮城島昌典清水漁協組合長より大会決議が読み上げられ、最後に佐藤吉明県信漁連会長より閉会のことばが述べられ式典は終了しました。

式典終了後、岸壁で主催者、来賓、招待者、地元浜っ鼓太鼓のメンバー等によるマダイ、ヒラメの記念放流が行われました。

また、当日会場では海の子作品の展示、まぐろの解体ショウ・模擬セリ、マグロの重量当てクイズ、アサリのつかみ取り、水産物の即売、ミニ水族館、浜っ鼓太鼓の披露、こどもかっぱれのダンス披露など多彩な催しが行われ、終日家族連れで賑わいました。

2. 亀井大臣焼津視察 水産関係者と意見交換

去る11月14、15日の両日、亀井善之農林水産大臣が第57回全国お茶まつりの出席にあわせて、水産関係施設などの現地視察のため焼津市を訪問しました。

亀井大臣が水産関係施設を視察するのは今回が初めてで、14日には焼津新港の漁港整備の状況や荷捌き施設、超低温冷蔵庫などを視察しました。この後、水産庁山本漁政部長、桑知遠洋課長、栗原県農業水産部長、戸本焼津市長が同席し、本会西川会長、村松県水産加工連会長、山本信漁連副会長等業界関係者が亀井大臣と静岡県の水産の現状や課題などについて意見交換を行いました。

翌日は、焼津水産加工センターの鰹節共同原料処理施設や残滓処理施設を視察したほか、深層水関連施設なども視察しました。

3. 「ライフジャケット着用推進モデル漁協」に南伊豆町漁協が指定

下田海上保安部(日高秀希部長)では、去る11月18日海上での死亡事故を減らすことを目的とした「自己救命確保キャンペーン」の一環として、ライフジャケット(救命胴衣)の常時着用を推進するモデル漁協に南伊豆町漁協(清田兼雄組合長)を県下で初めて指定しました。

当日は、同町子浦漁港で指定書の交付が行われたほか、保安部職員が救命胴衣を着用して落水実演を行いました。落水実演では、普段はベストとして使えるなど漁業操業に支障が少ないタイプの最新式ライフジャケットを着用し行われました。

指定された南伊豆町漁協は、ライフジャケット着用推進をはじめ、啓発看板の掲示・設置、キャンペーン活動への参加など保安部の各種活動に協力します。

また、同漁協では現在所属する漁船約500隻中200隻が1人乗りであることから、今後、特に単独操業する組合員を中心に、1人でも多くライフジャケットを着用するよう促していきます。

4. 浜名湖周辺のホテルなどで「遠州灘天然とらふぐ」料理を

浜名湖の館山寺温泉を中心に、弁天島温泉などの旅館、ホテル、料理店では地元遠州灘で漁獲されるトラフグが「遠州灘天然とらふぐ」ブランドとして11月から提供されます。

舞阪漁港で水揚げされ買い付けられた遠州灘産トラフグは、館山寺温泉にある遠州灘ふぐ調理用加工協同組合の加工場に搬送し、同加工場の水槽にストックされ、フグ調理の免許を持たない一般の調理師でも調理が出来る「身欠き」にまで加工をして、一番生の状態に近いマイナス3℃で保冷庫に保管し、このトラフグ身欠き品を組合員の旅館、ホテルや料理店が購入して各施設でトラフグ料理を提供できるようになったものです。

この身欠き品の価格はフグのメッカ、下関からの入手と比べ流通経費が削減されて中間マージンがなく3割ほど安くなり、より安い価格で新鮮なフグ料理を提供できるようになりました。

5. 流木クリーン作戦開催のお知らせ

各地の河川で問題化している大量の流木の発生を自然からの警告と受け止めようと、静岡漁協や安部藁科川漁協、NPO「水の国」しずおかフォーラム同市森林組合など、森、川、海に係る11団体で組織する実行委員会が「流木クリーン作戦」を、11月30日安倍川河川敷で開催します。

クリーン作戦では、静岡大、東海大の教授らによる環境ひと口レクチャーを受けてから、流木拾い活動を展開するほか、流木による家具やオブジェなどを県内の作家等が製作実演、地場産品や環境商品などの即売会、特製駿河汁や安倍川もちの無料サービスなどが予定されています。

会場：牛妻スポーツ広場 問合せ：国土交通省静岡河川事務所 TEL054-273-9106

6. 諸会議日程(11月25日(火)～12月8日(月))

- 既報分省略 -

12月5日(金) 県漁連 = 第9回県青年・女性漁業者交流大会 (もくせい会館)

〃 県機船底曳網組合 = 役員会 (ブケ東海)